

大原社会問題研究所五十年史

III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

調査および事務の分担決定

一九三三年末委員会の決定によると、三四年度の事業は新に講習会を開講すると同時に、研究調査をいっそう充実するということであつた。また調査室責任者には権田氏が当ることになり、調査の組織的な遂行のため、この年の初め、次のような分担が決定された。各委員の事務分担と併せ、それを記す。

高野一庶務一般(主任鷹津)、談話会に関する事務。
(調査)一官公私立大学における社会科学殊に社会統計学の教授及研究に関する調査、日清戦役前後における労働組合運動に関する調査。
森戸一編集室(主任笠)、資料室(主任後藤)、研究生室。
(調査)一労働学校調査、労働協約調査。
久留間一図書室(主任内藤)、会計監査。
(調査)一大正九年以後の世界恐慌記録の作製。
大林一講演会。
(調査)一本邦社会事業資料調査。
権田一雑誌出版。
(調査)一農村調査の一類型としての調査者自身の出生村の調査(福島県下)。
権田一調査室(主任後藤)。
(調査)一映画国策に関する調査。
大内一(調査)ドイツにおけるサラリーマン運動に関する調査。
(なお本年一〇月四日、増田貞吉氏が事務員として採用された)。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

研究活動・刊行物 [OISR.ORG全文検索](#)

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
